

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無（該当する方を選択してください。）

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。（グレーアウトされます。）

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ にんぎょうげきだんきょうげい 有限会社 人形劇団京芸		
代表者職・氏名	取締役 清水正年		
制作団体所在地	〒 611-0022		
	京都府宇治市白川鍋倉山35-20		
電話番号	0774-21-4080	FAX番号	0774-21-4092
ふりがな 公演団体名	にんぎょうげきだんきょうげい 人形劇団京芸		
代表者職・氏名	取締役 清水正年		
公演団体所在地	〒 611-0022		
	京都府宇治市白川鍋倉山35-20		
制作団体 設立年月	1949年 10月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	【取締役】清水正年 【運営委員長】坂下智宏 【事務局長】小林洋介 【会計監査】白米美帆/藤田博子	(1) 団体構成員: 演技部13名/制作部4名/総務部2名/囃託劇団員1名/囃託1名 計20名 (2) 加入条件等: 劇団の研究所を卒業した者、または、卒業と同等の能力を有すると認められた者	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	石川幹洋
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	小林洋介

制作団体沿革	昭和24年10月に劇団京都芸術劇場として創立される。昭和35年に新劇部門と人形劇部門とが分離・独立し、人形劇部門が人形劇団京芸として活動を始める。昭和42年に法人格を取得、有限会社人形劇団京芸となる。昭和47年に宇治市白川に稽古場を開設して活動の拠点とし、以後、全国の小学校、幼稚園・保育園、行政、鑑賞団体等で人形劇の上演を実施している。 平成9年の『モモ』により、人形劇団として始めて文化庁芸術祭優秀賞を受賞する。平成27年には『おもしろげきじょう』が厚生労働省社会保障審議会児童福祉文化賞特別推薦作品となり、また、国際児童青少年舞台芸術協会(ASSITEJ)韓国支部の第23回国際夏フェスティバル招待作品となる。令和3年には韓国ウニマ主催による動画コンクールにおいて映像作品がBest賞に選出される。			
学校等における公演実績	小学校での実績は令和2年度(4月1日～3月31日)は『火よう日のごちそうはひきがえる』5ステージ、『へんてこげきじょう』1ステージの計6ステージを実施。			
特別支援学校における公演実績	京都府立聾学校/京都府立盲学校小学部/京都府立舞鶴養護学校/大阪市生野区特別支援学校/八尾市立特別支援学校/みくまの支援学校/滋賀県立草津養護学校小学部/綾部市特別支援教育研究会等での公演実績あり。 また、平成26年度本事業において三重県立聾学校、27年度は兵庫県立姫路しらさぎ特別支援学校/神戸聴覚特別支援学校、平成28年度は広島県立庄原特別支援学校、平成29年度は長崎県立鶴南特別支援学校、令和元年度は熊本県立天草支援学校で実施。			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/l0LzxEXQcFA	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
	PW:			

公演・ワークショップの内容

		【公演団体名		人形劇団京芸		】		
対象	○	小学生(低学年)		-		中学生		
	○	小学生(中学年)						
	○	小学生(高学年)						
企画名	人形劇団京芸『とどろヶ淵のメッケ』							
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	『とどろヶ淵のメッケ』 【 原 作 】富安陽子『とどろヶ淵のメッケ』(佼成出版社刊) 【 脚色・演出 】北村直樹(人形芝居ひつじのカンパニー) 【 美 術 】清水正年 【 音 楽 】ノノヤママナコ(マナコ・プロジェクト) 【 照 明 】尾鷲武志 【 人形 製作 】人形劇団京芸 【舞台装置製作】吉田貴志(ヨシダ人形劇)・人形劇団京芸 【 制 作 】山本いずみ 公演時間(80分)							
著作権	○	制作団体が所有		○	制作団体以外が所有する事項が含まれる		取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	【あらすじ】 みくまり岳にある竜神沼では、毎夏、山に住むカッパたちが集まっての大相撲大会が開かれています。山にある淵の一つ、とどろヶ淵に住むカッパのメッケは、今年も一人留守番をさせられています。しかし、他のカッパたちが出発して3日後に、とどろヶ淵に流れ込んでいる滝の流れが止まってしまいます。カッパにとって水は命。メッケは流れが止まった原因を探るために旅立ちます。途中、好奇心旺盛なソッカ、力持ちのヨッシャと出会い、ともに竜神沼を目指します。一行の前に立ちちはだかる正体の分からないウロウロから逃げたり、迷子になったイノシシの子どもを見つけたり、カッパたちに伝わる巻物の謎を解き明かしたりしながらたどり着いた竜神沼で、水の消えた原因を知る大ガメに出会います。大ガメに告げられた水を取り戻す方法は何か、そして、興味がいつしか仲間を助ける気持ちに代わったメッケが取った行動とは。カッパたちと大冒険をしながら自分にとって、友達にとって、世界にとって大事なものを見つけにいきましょう。 【みどころ・セールスポイント】 『とどろヶ淵のメッケ』は沼や淵など水の中が舞台の人形劇です。照明や音響そして舞台装置で水の表情が一刻一刻変化する中、登場人物たちが自由に泳ぎ回り行動する様子は観る人の想像力を刺激します。また、見つけるのが得意なメッケ、調べるのが好きなソッカ、そして力自慢のヨッシャという、年齢も体格も興味も違う3人が時にはぶつかり時には協力しながら水が無くなった謎を探し、仲間を助けるために冒険する姿は多様なロールモデルを児童・生徒に提示し、他者に共感し応援する体験となるとともに自己実現の礎となります。(別添あり)							
演目選択理由	演劇は文学・音楽・美術・舞踊が一体となって世界を作り上げる芸術です。その中でも、人形劇は人形によって観る人の想像力を積極的に刺激し、幼児から大人まで、幅広い年齢層の心を動かします。 『とどろヶ淵のメッケ』は大きな人形、象徴的な舞台美術、そして登場人物一人一人の内面を大事にして表現する演出が結びつき、異年齢の集団が一緒に見られる質の高い舞台となっています。知らないところへ出かけていき新しい体験を仲間とする物語は、児童・生徒を刺激するばかりでなく、一緒に目標を達成することの大切さを提示し、それに向けてのコミュニケーション能力を育てます。 また、カッパという想像上の生き物、それが人形で表現されることで、登場人物に自分自身や気持ちを仮託して観劇する児童・生徒の想像力はより開放されます。 さらに、多様な芸術の要素を含んだ人形劇を観ることは、様々な文化に触れる機会となるので、今後まで続く文化芸術のへ関心を持つことができます。水をテーマにした人形劇ですから、環境問題についての啓発にもつながります。							
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	児童・生徒は子どものカッパ役で人形を造って公演冒頭に参加します。 実施校のそれぞれがカッパたちの暮らす淵になり、児童・生徒は大相撲大会を楽しみにするカッパとして出演します。公演で使用する人形は事前に自分たちで作成したものです。相撲の基本的な動作であるしこふみやつっぱりなどを披露し、踊りながら竜神沼の相撲大会へと向かいます。 上演後には人形でのお見送り体験や、出演した人形とのふれあい、舞台見学など、実施校の希望を聞きながらの人形劇体験を実施しています。(別添あり)							
出演者	小島祥子/清水正年/本田真輔/菅沼輝之/白米美帆/小谷恵梨香/西尾直樹							
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 7 名 スタッフ: 2 名 合 計: 9 名		機材等 運搬方法		積載量: 2 t 車 長: 6.5 m 台 数: 1 台			

【公演団体名 人形劇団京芸 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		3.5	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～11時30分	13時30分～14時50分	0分	15時30分～18時	18時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	30名(1クラス～1学年)				
	本公演	500名				
ワークショップ 実施形態及び内容	本公演で児童・生徒にはカッパの人形を遣って出演をします。そのためのワークショップを実施します。前半、後半と時間を区切り、前半では心と体を解放する演劇的なワークショップを実施したのち、カッパの人形を新聞紙などの手に入りやすいで作ります。休憩を挟み、後半では作成したカッパの人形を遣って人形劇体験を実施します。相撲が大好きなカッパたちなので、相撲の動き(しこふみ・つつぱり)などをしたり、自由に体育館を泳ぎ回ったりします。					
ワークショップ 実施形態の意図	人形劇の面白さは自分ではなく自分が遣うモノが動きや気持ちを表現してそれらを観客に届けることにあります。人形劇を体験することは自分とは違う他者がどのような気持ちであるか考え、そしてそれを表現することに適しています。人形を作ることは、個人の自由な想像力を駆使する機会となります。また、集団の中で人形を遣うことで、息遣いや動きなど、非言語の身体的コミュニケーション能力を養うきっかけになります。					
特別支援学校での 実施における工夫点	特に変更なく実施できます。 個々の特別支援学校の持つ期待や要求に応えられるよう、ワークショップの前段階から密に連絡を取ります。より良いワークショップと本公演が実施できるよう、今までの特別支援学校での実績を活かします。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名	人形劇団京芸	】
項目内容	演目概要、並びに児童・生徒の共演、参加又は体験の形態についての別添参照ヶ所 ○演目概要 『とどろけ淵のメッケ』は水の中の世界を舞台にした人形劇です。 また、小学校の体育館やホールでの上演を想定して舞台装置・人形を劇団で作りました。体育館の後ろまでよく見える大きなサイズの人形劇です。  小学校の体育館での上演風景  水の中を泳ぐ主人公のメッケ ○児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 人形は新聞紙やゴミ袋など、身近な素材を使って作ります。ワークショップ時に、劇団員とともに、それぞれの個性を活かしながら人形を作成し、動かしてみます。 本番では、ワークショップで作成した人形をそのまま使用します。児童・生徒はカッパ大相撲大会に参加する子どものカッパの役として冒頭に出演します。子どもたちの所属する淵の名前は実施校の名前を取り入れ、作品世界へ入っていくきっかけにします。リハーサルで出演に当たっての心の準備や人形の動かし方についてさらに学ぶことができます。  児童・生徒の個性が発揮されたカッパができます   先生方にもカッパの役で出演いただく楽しく分かりやすい出演場面です			

くちの水をいもじやー

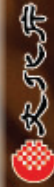
とどろけ淵の メツケ



令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業 -巡回公演事業-

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国産の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに演技指導又は鑑賞指導を行います。また、演技では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



とどろけ淵の メツケ

あらすじ

とどろけ淵に住んでいるカッパのメツケは大きな目で見たら見つけたりするのが得意な男の子。けれど、カッパたちの夏の大会にはいつも連れていってもらえず、今年も一人でお留守番です。ところが、みなが出発して3日、とどろけ淵に流れこお滝が干あがってしまいます。カッパにとって水は命。どうして水が止まったのか、メツケは何でも知りたいたソッカと力持ちのヨッシャと探しに出かけます。その先で出会う大イノシシに正体不明の黒い影、そしてたどり着いた滝の源、竜神沼で見つけたカッパたちの過去の秘密とは。仲間と一緒に新しい冒険が今、始まる！

団体紹介



1949年に京都にできた、人形劇をしているプロの人形劇団です。京都府宇治市に事務所と稽古場があり、全国の小学校やホールで公演をしています。

代表作は『モモ』(文化庁芸術祭優秀賞)、『おしれのぼうけん』、『魔女のたまご』、『あっちこちサバナン』など。



知っていますか? ~10月1日は

「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽財団という組織で、毎年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	H105	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	H	区分	A区分
公演団体名	人形劇団京芸				制作団体名	有限会社 人形劇団京芸			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	不要	条件					—
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *		2tトラック	1台	小型バス	1台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							/
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		2tトラック(長さ654cm 幅219cm 高さ304cm)					不可
	搬入車両の横づけの要否 *		要					可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *		10m以内					可
	搬入経路の最低条件		・できる限り段差・階段の無い経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。					可
	理由		・建設用足場等、大道具の搬入をするため。 ・人形等、濡れ厳禁の小道具があるため。					/
	設置階の制限 *		問わない					可
	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m		高さ	2m		可
	WSIについて	参加可能人数	30名(1クラス～1学年)					
学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *				—	
所要時間の目安 単位:分		2時限分(90分程度)※途中休憩有						可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					/
	鑑賞可能人数		500名程度まで					可
	舞台設置場所 *		フロア					—
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	14m	奥行	9m	高さ	5m	不可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要			—
		舞台袖スペースの条件 *						—
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	劇の効果上暗転が必要なため			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—
		ピアノの事前調律 *		不要			—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量		100A	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談
	体育館の階数等の条件によっては、前日の設営となる場合があります。							可

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

